

フィデリティ・ダイレクト、「集団」から「個」へと投信販売のあり方を変える新サービスを導入

- 顧客一人一人のニーズに合わせた新取引サイトを

6月16日にリリース -

- 預り資産に応じた「手数料優遇プログラム」を9月よりスタート -

2012年6月14日、東京 フィデリティ証券株式会社(東京都港区、取締役兼代表執行役社長: ジュディー・マリンスキー)の個人投資家向け資産運用サービスを提供するフィデリティ・ダイレクトは、投資信託による個人の長期資産形成を支援する新たな2つのサービスを6月16日より順次スタートいたします。

1. 新「取引サイト」を提供: 顧客の取引状況、ニーズに合わせた各種ツールを実装

フィデリティ・ダイレクトは日本で唯一のグローバルな資産運用グループ傘下である強みを活かし、他のオンラインとは一線を画す、投資信託を中心とした個人の資産形成を支援するサービス提供に注力しています。今年1月には、オンラインを経由した投信購入や、タブレット端末利用者の増加などを鑑み、オンライン取引の初心者にもファンド選択や検討、購入などがしやすい、よりシンプルなサイト構成にウェブサイトを更新しました。今回は誰でも外部からアクセス可能なログイン前のウェブサイトにつき、フィデリティ・ダイレクトに口座を持つ顧客を対象に、各自の取引状況や、ニーズに応じた情報を提供する取引サイト(ログイン後)を新規にリリースいたします。

新取引サイト改善のポイント

ポイント1. 個人の運用状況把握や投資戦略構築に役立つ「マイページ」

新取引サイトに今回新設された個人の口座情報ページ「マイページ」では、お客様の直近の資産評価合計額や取引履歴、評価損益率が資産クラス別に把握できるほか、資産評価合計額の推移や、変動要因を各種要因別に検証することができるツールを導入しました。評価金額の変動推移はお客様自身で参照期間を変更することも可能で、一定期間の評価金額の変動が、残高(入出金など)の変動によるものなのか、市場のインパクトによるものかなど、細かい分析をわかりやすく、視覚的に把握することができます。

ポイント2. 個人の取引状況に合わせたメッセージやレポートを表示する「本日のお知らせ」

お客様がログインすると直後に表示される、フィデリティ・ダイレクトとお客様とのコミュニケーション・ツール「本日のお知らせ」ページでは、お客様が保有するファンドに関する直近のレポートやお知らせなどが表示される仕組みになっており、お客様にとって優先度が高いと思われる情報が整理され、毎日の運用状況を確認するのに便利なツールとなっています。

ポイント3. 個人の投資カレンダーや各種情報を把握できる「カレンダー」機能

その他、ファンド積立をされているお客様には引き落とし日、ファンド決算日にはその日をお知らせする等、お客様の運用に役立つカレンダー機能を実装するほか、各種重要なお知らせを時系列で参照できる機能をまとめ、お客様が各自の保有ファンド関連のイベントを一元的に、わかりやすく把握できるよう工夫しました。

本来はファンド「購入後」に始まる長期の資産運用

資産形成の手段として投資信託の購入が一般的になってきていますが、多くの場合個人投資家はファンドを「購入」するまでに多くの時間を費やす一方で、購入後の運用状況の確認やポートフォリオの見直しなどには、あまり労力がかけられていないのが現状です。フィデリティ・ダイレクトは、長期のファンド運用には「購入後」に時間をかけ、運用状況の確認や見直しをこまめに行うことが重要であると考えます。

今回の各種新機能の提供は、資産運用が単に短期的なファンドの売買ではなく、長期的な視野に基づく「運用」によるものであることをお客様に理解いただくことを目指しています。また、利便性の高い各種ツールを通じて資産運用を自分や家族の将来に向けたライフプランの一環として身近に感じてもらい、ファンドの運用実績の確認や追加購入・売却（解約）の検討などを日々の生活の一部に取り入れてもらいたいと考えています。

なお、今回の取引サイトリリースに合わせ、フィデリティ・ダイレクトでは「資産運用をもっと身近に」をテーマとしたウェブ活用ガイドをネットや各種印刷物を通じ今後お客様に提供するほか、ビジネスマン、主婦などライフスタイル別に日々の生活への取り入れ方を提案する様々な啓蒙活動を展開していく予定です。

2. 手数料優遇プログラムを9月より実施：預り評価残高に合わせ優遇手数料を適用

また、フィデリティ・ダイレクトではファンド・MRF のお預り評価残高に応じてファンド購入時の申込手数料が優遇される新手数料サービスを9月1日よりスタートいたします。『手数料優遇プログラム』と呼ばれる新サービスでは、ファンド・MRF のお預り残高が3000万円以上のお客様にはファンドの購入時にかかる申込手数料を常時100%割引（無手数料）、1000万円以上3000万円未満のお客様には50%割引というように、ファンドやMRFの残高に応じて優遇手数料を常時適用いたします。^{*}

『手数料優遇プログラム』は9月1日からスタートとし、適用される最初の顧客の預り残高判定日は8月20日となります。残高判定はサービス開始後も毎月20日を判定日とし、随時適用される予定です。顧客の手数料優遇内容はリニューアルされた取引サイト内『マイページ』トップから随時確認できるほか、手数料優遇情報ページでは「ファンド一括購入」「ファンド積立」「株式・ETF・ETN」それぞれの優遇手数料状況を視覚的に把握することができるようになります（p4 図参照）^{*}。

^{*}株式の手数料優遇サービスは2008年1月より既に実施しています（詳細はp4参照）。

投信販売を「マス（集団）」から「個」へのアプローチへ

上記2つのサービスの導入は、大まかな投資家のプロファイルに元づきマス（集団）の投資家を対象とした従来の方法から、お客様一人一人の投資目的や資産状況などに合わせ、個々のニーズに合ったサービスの提供（パーソナライズ）へと投信の販売方法を変えていくという、アプローチの変換も意味します。投資信託による資産運用サービスとは、従来個人の目的に合わせ行うべきものだとフィデリティ・ダイレクトでは考えており、今回の新サービスにとどまらず、今後もさらにお客様一人一人のニーズに合った、よりきめ細かいサービスやユニークなツールを順次提供していく所存です。

なお、フィデリティ・ダイレクトでは現在取り扱う290本以上^{*}の投資信託の申込手数料を無料化するノーロード・キャンペーンを3月12日（月）より8月3日（金）まで実施しています。キャンペーン期間中にこの2つの新サービスを発表することで、8月の初回判定日までにより多くの投資家の皆様に投信購入を検討いただき、今後の長期の資産運用に活用していただければと考えています。

^{*}2012年5月1日現在

<ご参考>

新取引サイトご紹介
マイページ



「ファンドの7つのアセットクラス」「株式・ETF・ETN」「お預り金・MRF」のそれぞれの投資割合と評価額(約定ベース)、評価損益率が参照可能(左図)。

預り資産評価合計額の推移の把握が可能。また、「お預り資産推移」では参照期間を指定することで、当該期間中の評価金額の変動要因を各資産別に参照できる(右図)。

本日のお知らせ



ファンドイベントや顧客個人に向けたキャンペーン情報などを掲載可能。保有するファンドの運用報告書やマーケットレポートが自動で配信される。

カレンダー



決算日やキャンペーン開始日等、資産運用の大事なタイミングがひと目で把握可能。確認したいイベントをクリックすると、ページ下部の「イベント内容」で詳しく参照できる。

新取引サイト・手数料優遇プログラムの詳細は6月16日(土)正午以降以下のリンクからも参照できます。<https://www.fidelity.jp/fskk/news/20120616.page>

優遇手数料プログラムについて

ファンド・MRF のお預り残高に応じてファンドの申込手数料や株式・ETF・ETN の委託手数料に優遇手数料が適用される仕組みです。

ファンド購入時の申し込み優遇手数料 (2012年9月より適用開始)

	ファンド・MRFのお預り残高		
	3000万円以上	1000万円以上 3000万円未満	1000万円未満
ファンド申込手数料	100%割引(無手数料)	50%割引	通常手数料(優遇なし)

株式・ETF・ETN 購入時の株式委託手数料 (2008年1月より既に導入済み)

	インターネット取引	電話取引	ファンド・MRFのお預り残高		
			3000万円以上	1000万円以上 3000万円未満	1000万円未満
株式委託手数料	1約定あたり一律500円(税込)	1約定あたり一律1500円(税込)			
	1約定あたり一律5000円(税込)				

優遇状況は新取引サイト内の「手数料優遇情報」で確認できます。



- 1 「ファンド一括購入」「ファンド積立」「株式・ETF・ETN」ごとの手数料優遇状況や優遇適用期間をご確認できます。優遇適用中の手数料には、アイコンとしてメダルマークが表示されます。
- 2 過去に適用された優遇割引率と対象手数料を見ることができます。また、来月に適用される優遇もあわせて参照できます。
- 3 あとどれくらいファンド・MRF の預り残高があれば優遇適用となるのか、棒グラフで残高の進捗度合いがひと目で確認できます。

手数料優遇判定について

ファンドの場合：2012年8月より、毎月20日(休日の場合は翌営業日)の残高判定日のファンド、MRF、お預り金のお預り評価残高によって、ファンドの購入時手数料割引率が決定します。

株式の場合：毎月20日(休日の場合は翌営業日)の残高判定日のファンド(一部ファンドを除く)のお預り評価残高によって、株式委託手数料が決定します(お預り金、MRFの残高は含みません)。2012年8月20日以降は、ファンドの場合と同様、毎月20日(休日の場合は翌営業日)の残高判定日のファンド、MRF、お預り金のお預り評価残高によって、株式委託手数料が決定となる予定です。

フィデリティ証券について

フィデリティ証券株式会社は、独立系で資産運用業務をグローバルに展開するフィデリティ・ワールドワイド・インベストメントの傘下企業です。日本では1997年12月開業、「フィデリティ・ダイレクト」というサービス名称のもと、投資信託を中心とした個人の長期的資産形成を支援するサービスに特化しています。外資系では日本で唯一のインターネット証券です。自社グループが運用する投資信託だけでなく、他社商品も幅広く取り扱い、2012年5月31日現在、フィデリティ投信及び当社グループが運用する投資信託40本、他社が運用する投信254本の合計294本を提供しています。

投資信託に関する手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。(税込み)

申込時に直接ご負担いただく費用

・申込手数料(投資信託の購入金額に対して、最大3.15%)

フィデリティ証券では金額指定にて投資信託の買付のお申込みを承っております。この場合のお申込手数料(購入時手数料)は、購入金額(購入口数×当該買付に適用される基準価額)に各ファンド所定の手数料率(税込)を乗じた額となり、お申込金額(ご指定いただいた額=お支払いいただく金額)の中からいただきますので、お申込金額全額が当該投資信託の購入金額となるものではありません。(内枠式)

換金時に直接ご負担いただく費用

・信託財産留保金(換金申込日の基準価額に対して最大1.0%)

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

・信託報酬(信託財産の純資産総額に対して、年最大年率2.4675%、但し、純資産総額が減少した場合等、実質的にこれを上回ることがあります。)

その他詳細は各商品の目論見書をご確認ください。

なお、上記の手数料等の合計額につきましては、ご投資家の皆様がファンドを保有する期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

投資信託のお取引にあたってのリスクについて

ファンドは、株式、公社債などの値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動し、したがって投資元本及び利息の保証はありません。よって、保有期間中もしくは解約又は売却時の投資信託の価額は、ご購入時の価額を下回ることもあります。こうした運用の損益はすべて投資信託をご購入のお客さまに帰属します。また、運用状況によって収益分配金の支払額は変動することがあり、あるいは支払われない場合があります。

投資信託は、預金又は保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。投資信託説明書の入手方法についてはフィデリティ証券にお問い合わせ下さい。

当社の概要

(商号等) フィデリティ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号 (加入協会) 日本証券業協会
PI20120614-1